資料1：情報モラル指導　モデルカリキュラム

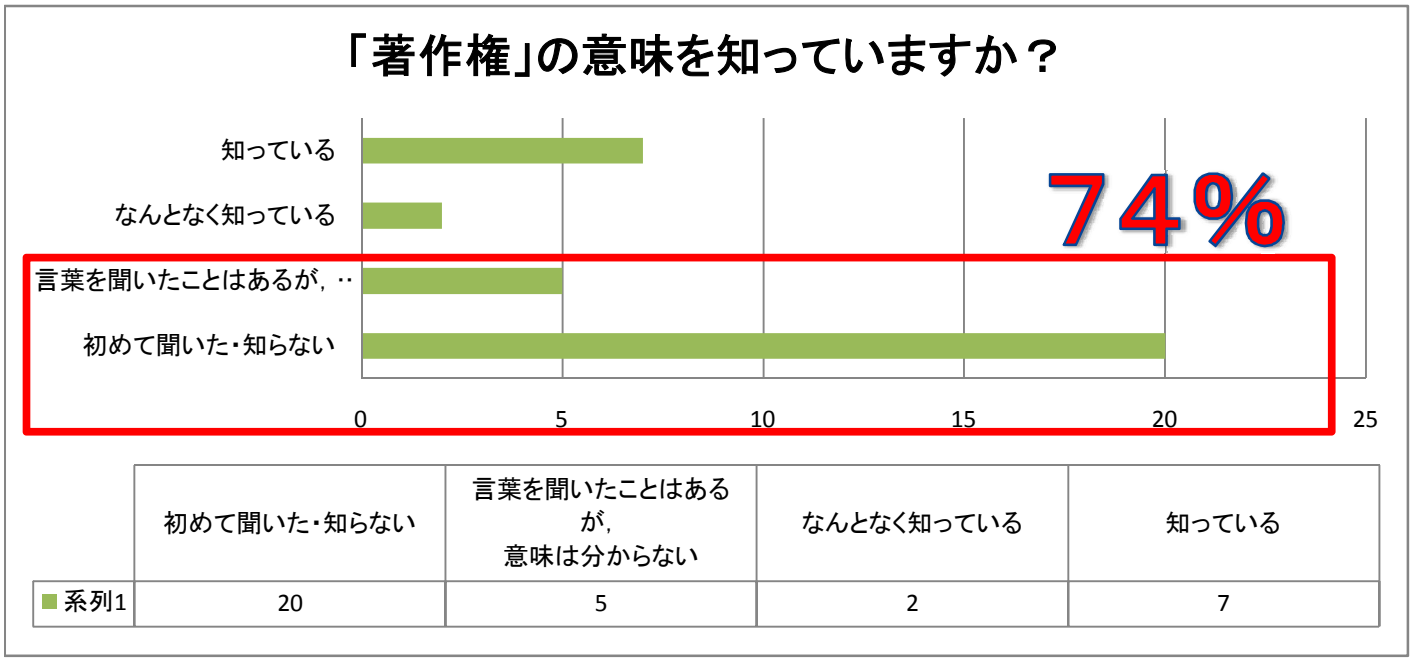
※「情報モラル指導ポータルサイト」より　http://kayoo.info/moral-guidebook-2007/model/model-curriculum.html#code-b

1．情報社会の倫理

1．情報社会の倫理					
a	a1～a3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ			a4～a5：情報社会への参画において、責任ある態度で臨み、義務を果たす	
	小学校1・2年(Level-1)	小学校3・4年(Level-2)	小学校5・6年(Level-3)	中学校(Level-4)	高等学校(Level-5)
	a1-1:約束や決まりを守る	a2-1:相手への影響を考えて行動する	a3-1:他人や社会への影響を考えて行動する	a4-1:情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する	a5-1:情報社会において、責任ある態度をとり、義務を果たす
	▽コンピュータやメディアを使う場合に、決められたルールを守る	▼ネットワークで誹謗中傷を行わない	▼ネット上の迷惑行為にどのようなものがあるかを知る	▼ネット上の迷惑行為は、行わない	▼情報技術を悪用しない
	▽みんなで決めた約束や決まりをまもる	▼受け手の気持ちを考えて情報発信する	▼相手の状況を踏まえて、情報発信する	▼携帯のマナーを守る	
	▽うそをついたりごまかしたりしない		▼チェーンメールが社会に与える影響を知り、行わない		
			▼携帯のマナーを知る		
b	b1～b3：情報に関する自分や他者の権利を尊重する			b4～b5：情報に関する自分や他者の権利を理解し、尊重する	
	小学校1・2年(Level-1)	小学校3・4年(Level-2)	小学校5・6年(Level-3)	中学校(Level-4)	高等学校(Level-5)
	b1-1:人の作ったものを大切にする心をもつ	b2-1:自分の情報や他人の情報を大切にする	b3-1:情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する	b4-1:個人の権利(人格権、肖像権など)を尊重する	b5-1:個人の権利(人格権、肖像権など)を理解し、尊重する
	▽みんなが使うものを大切にする	▼(ネット社会でも普段の生活でも、)他の人との関わり方を大切にする	▼自分と異なる意見や立場を尊重する		
		▼情報の提供に対し、感謝と助け合いの精神を持つ	▼人の著作物には、著作権があることを知り、尊重する	b4-2:著作権などの知的財産権を尊重する	b5-2:著作権などの知的財産権を理解し、尊重する

↑はじめの【大目標一覧】へもどり、小目標を検索する

資料2：「著作権」に関するアンケート結果（6年生33名対象）



	初めて聞いた・知らない	言葉を聞いたことはあるが，意味は分からない	なんとなく知っている	知っている
系列1	20	5	2	7

資料3：「著作権って，どんな権利のことでしょう」

【知っていると答えた児童】

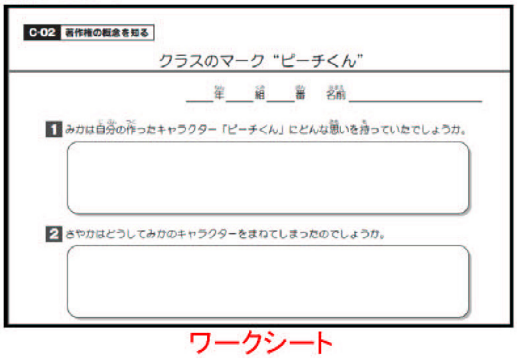
- 人の作品を使う時は，その人に許可をもらって使わなければならない。
- 自分の書いた作品が真似されて売られた時に、相手にバツを与えられる権利。
- 作者が書いた本などを人に真似されないようにする権利。
- 自分が書いた作品や書物などは、自分だけのものという権利。他の人は使ってはダメ。
- 人のかいた絵や作品を、かいた人の許可を得ず、無断で使用したり、真似したりしてはいけない。
- 人がつくったものを真似たり、自分のものにしたりしてはいけないこと。
- 誰かの絵や詩などを、勝手に真似してはいけないことが、法律で決められている。

【知らない・分からないと答えた児童】

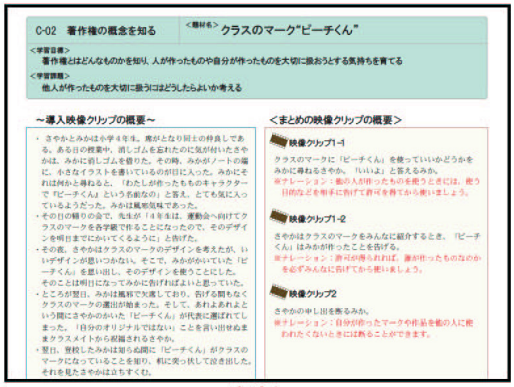
- たぶん、「人の作品を勝手に使っていい権利」のことだと思う。
- 人と同じものを作ってよい権利。
- 何かを作る権利？　「著＝つくる」というイメージだから。
- だれかの描いた絵などを真似しても良い権利を持っている人のこと？　持っていない人は、勝手に真似をしてはいけない。
- 人がかいたものを許可なしに使ってよいこと。
- その人が作った作品を、自分自身で何をしようが許される権利。
- 作ったものが自分のものになるということ。
- 「著作権」という言葉は聞いたことがあるけれど、よく分からない。
- わからない。

資料5：「事例で学ぶNetモラル」の教材セット　広島教販 事例で学ぶ Netモラル）

映像クリップ



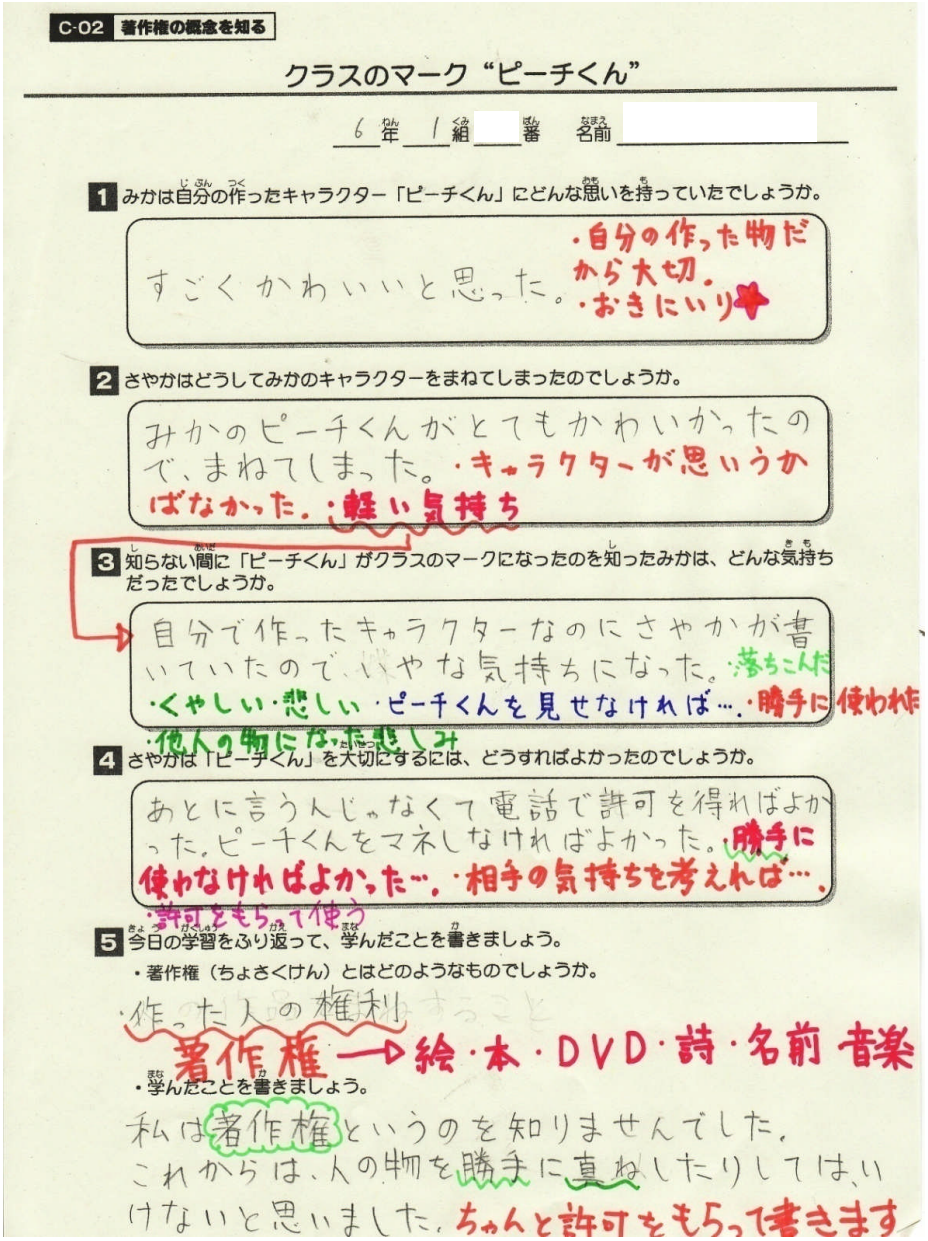
ワークシート



資料

マニュアルシート

資料6：児童が書いたワークシート



C-02 著作権の概念を知る

クラスのマーク“ピーチくん”

6年 1組 番 名前

1 みかは自分の作ったキャラクター「ピーチくん」にどんな思いを持っていたでしょうか。

すごくかわいいと思った。・自分の作った物だから大切。・おきにいり

2 さやかはどうしてみかのキャラクターをまねてしまったのでしょうか。

みかのピーチくんがとてもかわいかったので、まねてしまった。・キャラクターが思いうかばなかった。・軽い気持ち

3 知らない間に「ピーチくん」がクラスのマークになったのを知ったみかは、どんな気持ちだったでしょうか。

自分で作ったキャラクターなのにさやかが書いていたので、いやな気持ちになった。・落ちこんだ・くやしい・悲しい・ピーチくんを見せなければ…・勝手に使われた・他人の物になった悲しみ

4 さやかは「ピーチくん」を大切にするには、どうすればよかったのでしょうか。

あとに言うんじゃなくて電話で許可を得ればよかった。ピーチくんをマネしなければよかった。・勝手に使わなければよかった…・相手の気持ちを考えれば…・許可をもらって使う

5 今日の学習をふり返って、学んだことを書きましょう。

・著作権（ちょさくけん）とはどのようなものでしょうか。

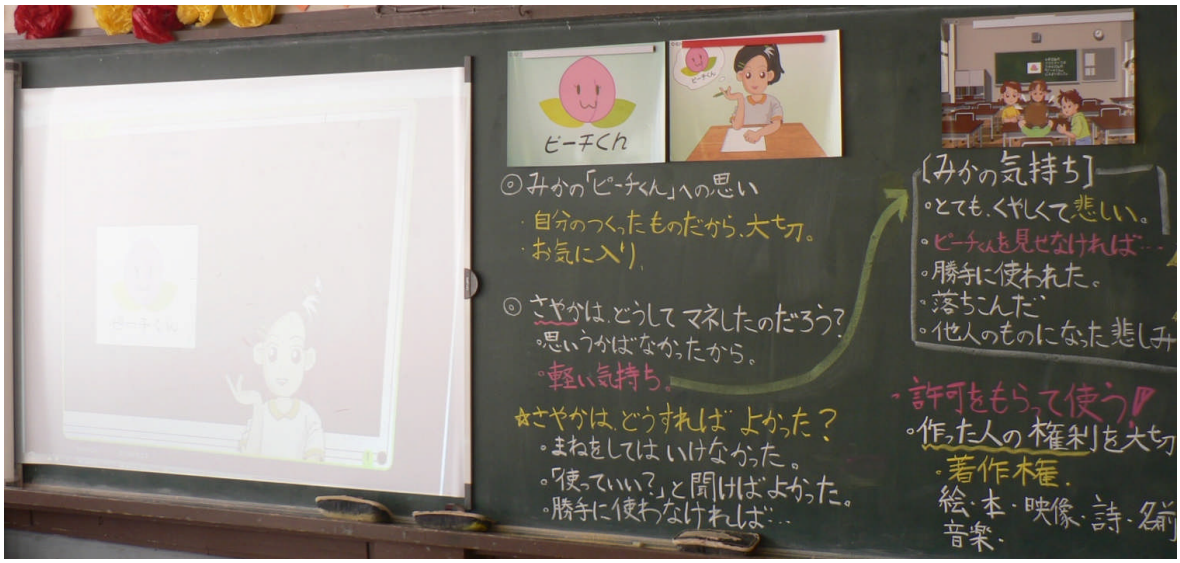
・作った人の権利

著作権→絵・本・DVD・詩・名前 音楽

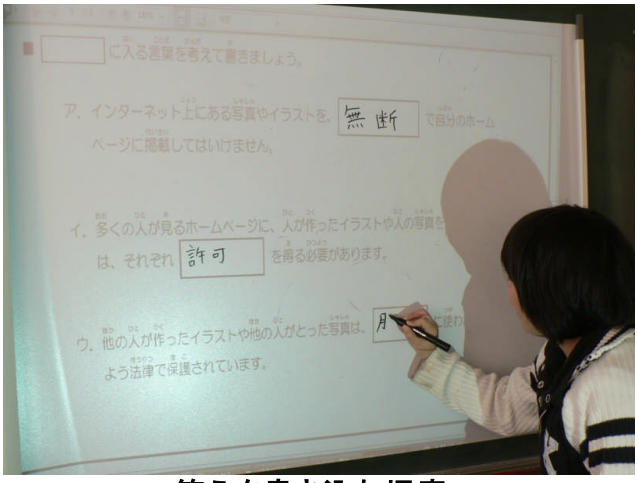
・学んだことを書きましょう。

私は著作権というのを知りませんでした。これからは、人の物を勝手に真ねしたりしてはいけないと思いました。ちゃんと許可をもらって書きます

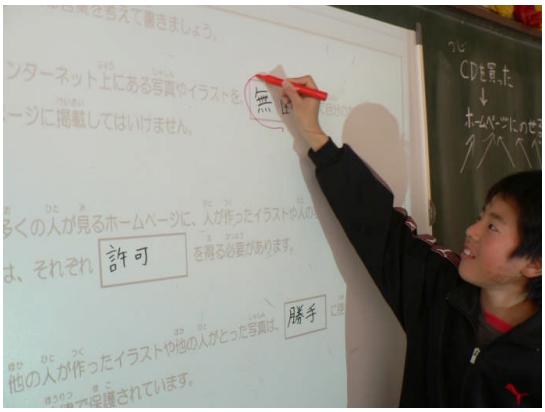
資料7：児童の意見をまとめた板書



資料8：10分教材 学習のポイント

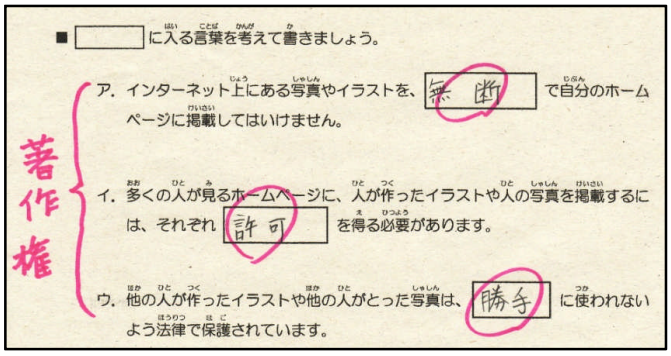


答えを書き込む児童



答え合わせの様子

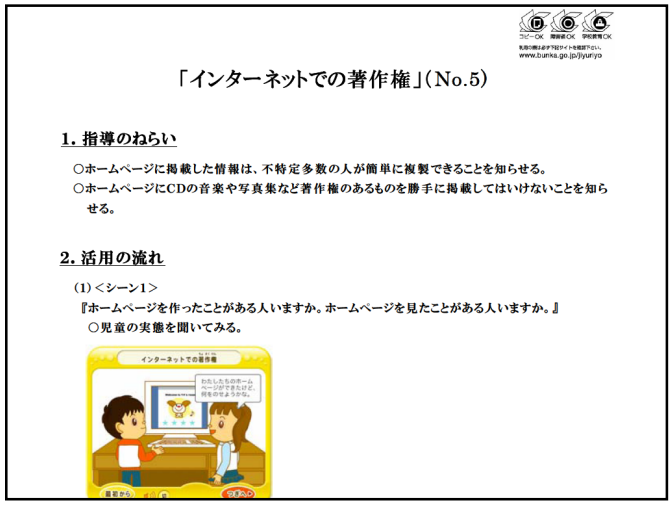
ワークシート→



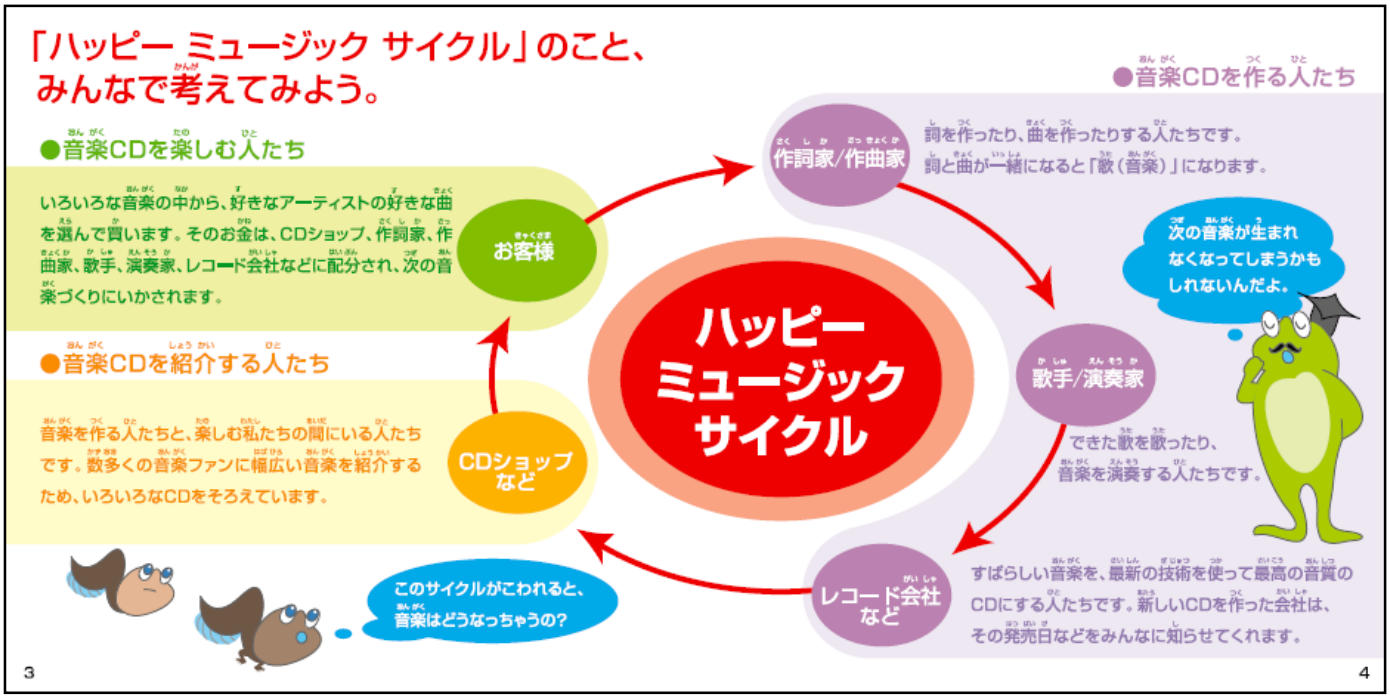
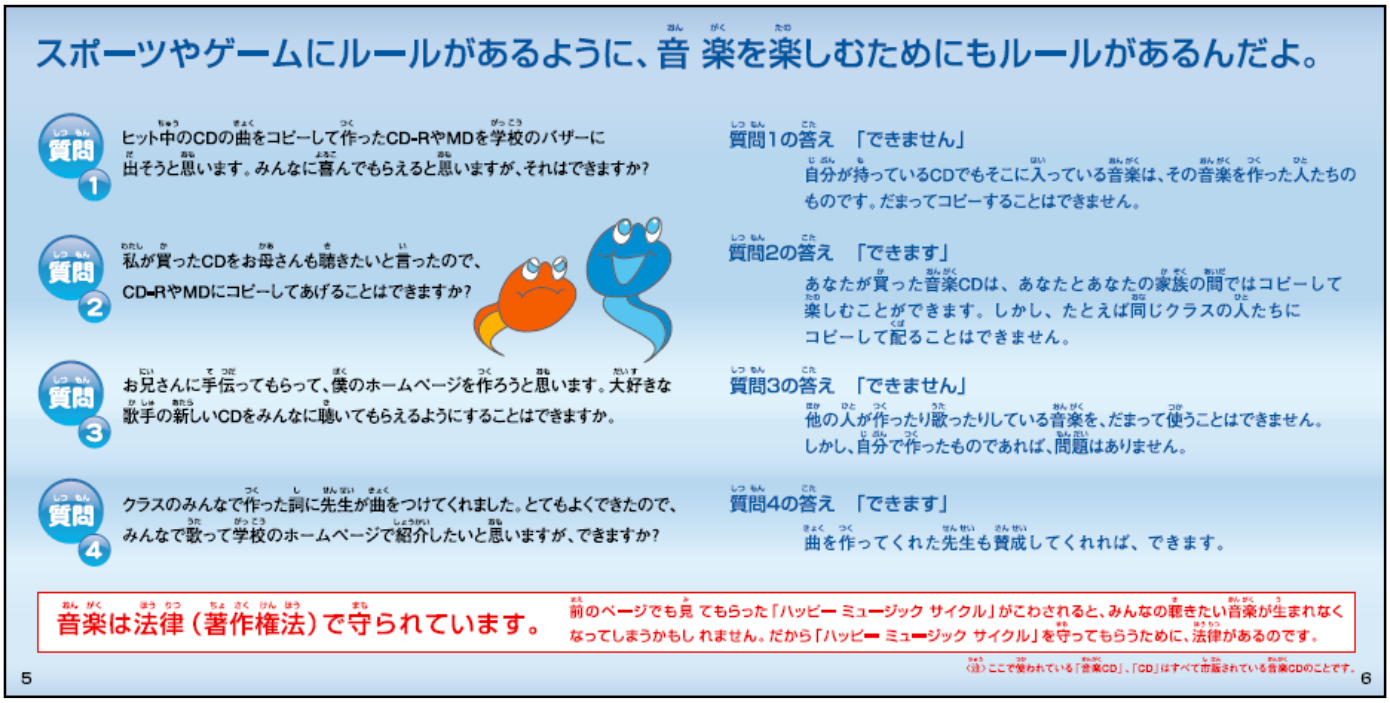
資料9：著作権学習コンテンツ

小学生のための著作権教材
http://deneb.nime.ac.jp/contents/school_child/index.htm
制作・著作：文化庁著作権課

ダウンロードして使える
アニメーション教材



ダウンロードして使える「学習指導案」
http://deneb.nime.ac.jp/contents/school_child/pdf/cont005.pdf

資料10：楽しく音楽を聴くために知っておこう

※社団法人日本レコード協会　http://www.riaj.or.jp/copyright/pdf/elementary_db.pdf